



しのめ信用金庫

付加価値の高い地域の活性化策や 魅力の向上に資する 積極的な取組を行う



富岡市

住 所・・・富岡市富岡1123

T E L・・・027-330-1175(本部)

U R L・・・<https://www.shinonome-shinkin.jp/>

代表者・・・横山 慶一

設 立・・・1925年6月25日

資本金・・・10,805,929千円

従業員・・・650名

WEBサイト



事業者紹介

群馬県の中南部と埼玉県の一部を中心に41店舗、1出張所を展開。地域の皆様に価値を創造する「価値創造金庫」を目指すことを経営方針とし、目先の利益ではなく長い目でお客様のためになる提案や活動を実践するよう努めています。2025年6月には創立100周年を迎えます。これまでの歩みに感謝し、今後も当金庫の企業理念「愛本位主義」を胸に未来への希望と共に地域社会の発展に貢献してまいります。

経緯・背景

少子高齢化、都市部への人口流出、中心市街地の空洞化など、地域社会が抱える課題は、「地域との共存共栄」を目的とした協同組織である信用金庫にとっても真剣に向き合わなければならない重要な経営課題の一つであると考えています。当金庫では、金融サービスや本業支援を通じたソリューションの提供だけでなく、しのめ信用金庫らしい付加価値の高い地域の活性化策や魅力向上に資する取組を積極的に行っております。

人と人をつなぐ「つどにわ」 地域とお客様の進化に 貢献する建造物に

具体的な取組・成果

「人と人」をつなぐ場所をつくり、 地域の未来に貢献する

2022年9月前橋市千代田町にある前橋営業部が大規模なリノベーションを経てリニューアルオープンしました。リニューアルした前橋営業部は金融機関の店舗という枠を超え、人と人のつながりを生み出し、地域に愛着を持つきっかけを提供できる場所を目指して運営を行っております。

●つどにわ

店舗に隣接した広場「つどにわ」では、同じ敷地内にあるエフエム群馬とともに地域の賑わいにつながる様々なイベントを開催しています。



●コーヒースタンド

建物1階にはコーヒースタンドが併設されており、金融機関に用事がない方も気軽に立ち寄り、コーヒ一片手に交流できる場となっています。

●つどにわライブラリー

建物2階は、地域の皆様へ開放したフリースペースとなっており、「世界を広げる本」をテーマに選書した本400冊を自由にお読みいただけます。勉強や仕事をする場としても活用され、学生から社会人まで多くの方にご利用いただいております。



●つどにわホール

建物3階には約70名が収容できるホールがあり、一般の方にも貸出を行っております。これまでに会議や研修の他、ラジオの公開収録、地元高校生によるギター・マンドリン演奏会、フルート・ピアノのコンサート会場としても利用されています。



リノベーションした前橋営業部は、旧前橋信用金庫の本店として昭和39年に建築され、耐震化の問題等から建替を行わなければいけないことが懸案となっておりました。当初は、旧建物を解体してからの新築を予定しておりましたが、古いものを大切に、温暖化ガスの低減もできるとの考えによりリノベーションによる建物再生に取り組んだものであります。そもそも信用金庫の活動の趣旨は「地域とお客様の歴史、関係性を引き継ぎながら、未来に向かって地域とお客様の進化に貢献する」ことであり、地域の継続性を象徴する建築物として再生できたと考えております。

当社にとってのSDGsビジョン

企業理念「愛本位主義」に基づくSDGs宣言

当金庫では「愛本位主義」を企業理念とし、全ての発想の原点を人間愛のなかに求め、「幸福の創造」を願い、「個々の成長」を喜び、「地域の未来」を思い、「日々の健全」を誓い、愛ある行動の実践を追及しています。こうした当金庫の企業理念はSDGsの理念と完全に一致するものと考え、2021年9月にSDGs宣言を公表しました。

今後の展望と求めるパートナー像

パートナーシップを強化しSDGsの達成に貢献

地球環境問題への対応、誰一人取り残さない(well-being)社会の実現など、地域や企業が対応すべき課題は多様化しています。地域金融機関として自ら率先してこれらの課題に取り組むことはもちろん、地域の事業者の方々のSDGsにかかる取組を十分にサポートできるよう、地域の人や企業、自治体、専門機関などとのさらなる連携強化を進めてまいります。